

令和元年度 9 月補正予算の概要

令和元年 9 月
総務部財政課

令和元年度9月補正予算の主な事業

- I 西日本豪雨災害への対応として、被災園地の早期復興に向けた生産技術の開発や、企業からの寄附金を活用した被災児童等の交流促進を図るほか、県民の安全・安心を確保するため、**県独自の緊急防災・減災対策**（避難道路や河川、砂防施設等の整備）を積極的に推進
- II 子育て支援の充実やスポーツ振興をはじめ、観光や商工業・農林水産業の振興など、当面する課題に対応

これまでの豪雨災害対応予算：1,192億円
(H30年度：952億円 R元年度：240億円)

1. 西日本豪雨災害への対応： 3,853万円 〔債務負担行為：電気事業会計 3億7,140万円〕

(1) 被災地の復旧・復興	3,853万円	(注：◎は新規施策分)
◎ ① 被災園地の復興に向けた生産技術の開発		648万円
◎ ② 大手コンビニチェーンからの寄附金を活用した被災児童等の交流促進		210万円
◎ ③ 鹿野川湖ポートコースの災害復旧		2,995万円
④ 肱川発電所の建屋建替（企業会計）		
		〔債務負担行為 3億7,140万円〕

2. 県民の安全・安心確保対策の推進： 33億1,600万円

(1) 県単独緊急防災・減災対策事業	33億1,600万円
① 緊急輸送道路等の整備	20億1,400万円
② 河川、海岸、港湾施設の改修	5億7,420万円
③ 河川の氾濫を防止する河床掘削の推進	2億 500万円
④ がけ崩れ防災対策の促進	2億 980万円
⑤ 土砂災害を防止する砂防施設の整備	3億1,300万円

※ 6月補正予算で道路安全対策や河床掘削の防災・減災対策を前倒して実施 (22億3,119万円)

3. 当面する課題への対応：

47億343万円

《中小企業振興資金特別会計 21億300万円》

(1) 子育て支援等の充実	7,404万円	
◎ ① 官民共同で子どもや子育て世帯を支援するための「子ども子育て応援基金」の創設		6,335万円
[※本年1月に匿名で届いた寄附金(1億661万円)を、寄附者の意向を踏まえ2基金で活用 「子ども子育て応援基金」及び「災害に強い愛媛づくり基金」にそれぞれ1/2を積立て]		
② 外国人介護人材の受入拡大と定着促進を図るためのマッチング支援		1,069万円
(2) スポーツ立県えひめの推進	1,249万円	
① 東京オリンピック聖火リレーの実施に向けた機運醸成		919万円
② 愛媛マラソン大会への支援		330万円
(3) 観光の振興	9,647万円	
① 「えひめさんさん物語」閉幕後の持続的な地域づくりに向けたシンポジウムの開催		300万円
② 外国大型クルーズ船の受入態勢の充実と航行安全対策の検討		4,347万円
③ 交通事業者が行う低床式路面電車導入の支援		5,000万円
(4) 商工業・農林水産業の振興	20億1,576万円	
① 中小企業者の資金繰り支援 (融資枠50億円拡大)		20億円
② 赤石五葉松の盆栽等のEU向け輸出支援		683万円
◎ ③ 腎疾患対応低タンパク米の生産技術の開発や販売戦略の策定		893万円
(5) その他	2,248万円	【特別会計 21億300万円】
◎ ① 総務系事務の集約化等による働き方改革の推進		2,003万円
◎ ② 公立学校教員の人材確保に向けた採用ウェブサイトの構築		245万円
③ 農商工連携ファンドの存続期間満了に伴う償還金 《中小企業振興資金特別会計》		21億300万円

予算規模

◆ 一般会計	80億5,796万円	【累計 6,659億 394万円】
◆ 特別会計(中小企業振興資金)	21億 300万円	【累計 2,737億1,630万円】
◆ 企業会計(電気事業)	-	〔債務負担行為：1事項 3億7,140万円〕

県独自の緊急防災・減災対策

- 1 西日本豪雨災害などを踏まえ、県民の安全・安心を確保するため、道路の安全対策や砂防堰堤の整備、河床掘削など緊急に行うべき県独自の防災・減災対策を積極的に推進
- 2 当初予算と国の3か年緊急対策を活用して6月補正予算で対応した道路安全対策や河床掘削の県単前倒し分を合わせた予算額は、前年度9月補正後を上回る規模を確保

30年度：140億円

R元年度：153億円

対前年度 +13億円（伸び率+9.8%）

「9月補正」
緊急防災・減災対策
50億円

- ・道路・河川整備など 36.7
- ・砂防、がけ崩れ防災 9.3
- ・河床掘削 4.0

「当初」
防災・減災強化枠
90億円

- ・防災・減災対策事業 43.1
- ・警察署の建替、
私立高校、私立幼稚園の
耐震化の促進など 46.2

「9月補正」
緊急防災・減災対策
33億円

「6月補正」
県単前倒し分 22億円
□うち河床掘削 11.1

「当初」
防災・減災強化枠
98億円

- ・防災・減災対策事業 43.1
- ・警察署の建替、ため池の
災害対策、私立幼稚園の
耐震化の促進など 54.5

◆西日本豪雨災害を踏まえた
対策を積極的に推進

- ・道路安全対策や河川、
海岸、港湾施設の整備など
(25.9億円)
- ・砂防やがけ崩れ防災対策
(5.2億円)
- ・土砂の堆積が著しい箇所
の河床掘削 (2.1億円)

令和元年度9月補正予算の内訳

一般会計 歳入予算

区 分	補正予算額	備 考
国 庫 支 出 金	8,919万円	電源立地地域対策交付金 など
繰 入 金	1,069万円	地域医療介護総合確保基金繰入金
繰 越 金	28億 557万円	決算剰余金
諸 収 入	20億 300万円	中小企業振興資金貸付金、助成事業収入
県 債	29億 500万円	県単独緊急防災・減災対策事業への充当予定額 など
そ の 他	2億4,451万円	一般寄附金、土木費負担金 など
合 計	80億5,796万円	

一般会計 歳出予算

区 分	補正予算額	備 考
投 資 的 経 費	35億2,134万円	
公 共 事 業	8,421万円	災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業
県 単 独 事 業	34億 718万円	県単独緊急防災・減災対策事業 など
災 害 復 旧 事 業	2,995万円	鹿野川湖ポートコース災害復旧
積 立 金	23億5,492万円	財政基盤強化積立金、子ども子育て応援基金積立金 など
貸 付 金	20億円	中小企業振興資金貸付金
そ の 他	1億8,170万円	働き方改革推進事業 など
合 計	80億5,796万円	